

オーケストラ
THE ORCHESTRA JAPAN



撮影協力
サントリーホール



©手塚プロダクション



©小山田篤 株式会社/東京テレビ A-1 Pictures

The Brand-New Concert 2017

© 2000 Mamoru Oshii and Avalon Project,
All Rights Reserved.



3/29 WED
Bunkamura
オーチャードホール

19:00 開演 18:00 開場

入場料 (前売り/後込み)

S: ¥5,800 A: ¥4,500

B: ¥3,300

※B席は、一部スクリーンが見づらい可能性のある席を含みます。ご了承ください。

■ Bunkamura チケットセンター

03-3477-9999 (10:00~17:30)

■ オンラインチケット MY Bunkamura

<http://my.bunkamura.co.jp>

※PC/スマートフォン共通

■ Bunkamura チケットカウンター

Bunkamura 1F (10:00~19:00)

■ 東急シアターオーブ緊急チケットカウンター

渋谷ヒカリエ 2F (11:00~19:00)

■ チケットぴあ

0570-02-9999 (Pコード 322996)

■ イベント紹介ページ

<http://www.kakehashi-foundation.jp/activity/concert/>

PART 1 TOMITA TUNES

富田勲氏が切り拓いた未踏の音楽ワールド、
アコースティックとデジタルを融合した名作を堪能。

- ジャングル大帝
- 源氏物語交響絵巻
- 組曲「惑星」より火星



総監督：週辺 俊幸



音楽プロデューサー
篠田 元一



司会アシスタント
加羽沢 美濃



富田 勲
1932-2016

PART 2 THE LEGEND'S WORKS

ドラマや映画音楽、アニメ、ゲームなど電子楽器が大きな役割を果たす楽曲を演奏。
日本を代表する作曲家のトークと映像で、ポピュラー音楽における電子楽器の役割を解説。

- Song for KAKEHASHI (作曲：篠田元一)
- 自由の大地 変奏曲 (作曲：服部克久)
- GOLD~Main title (フジテレビドラマ「GOLD」) (作曲：千住明)
- Brilliant Phantom 交響曲第1番より2楽章 (作曲：千住明)
- PRIDE (TBSテレビ「ものづくり日本の奇蹟」メインテーマ) (作曲：千住明)
- チェイス・ザ・エクスプレス (作曲：窪田俊幸)
- 宇宙兄弟 (作曲：窪田俊幸)
- 花魁抄 (作曲：川井憲次)
- 機動警察パトレイバー 劇場版/絶頂の中へ (作曲：川井憲次)
- Avalon / Log In (作曲：川井憲次)



服部 克久



千住 明



川井 憲次

※ 曲目は予告なく変更される場合があります。

主催：公益財団法人かけはし芸術文化振興財団 <http://www.kakehashi-foundation.jp/>

協力：一般社団法人 日本作曲家協会、一般社団法人 音楽電子事業協会 (AMEI)、手塚プロダクション、A-1 Pictures、東京テレビジョン、KADOKAWA、
楽器メーカー各社、首都圏音楽大学/専門学校 他 企画：トート株式会社

電子楽器とオーケストラの融合に
大きく貢献した作曲家の活躍を
追悼の機会に
特別の企画展。

The Brand-New Concert 2017

電子楽器とオーケストラの融合で、大きくふくらむ音楽の世界。

富田 勲 Isao Tomita

作曲家、シンセサイザー・アーティスト 1932-2016

慶応義塾大学在学中から作曲家として多彩な分野で活躍をはじめ、74年にはシンセサイザーによる「月の光」を発表してビルボード誌の第1位を獲得し、さらに日本人として初めてグラミー賞にノミネート。以後発表するアルバムは次々に全世界で空前のヒットとなる。その後、多数のNHK大河ドラマや山田洋次監督作品で音楽を担当。2011年からは「ISAO TOMITA PROJECT」が始動。「惑星」や「月の光」など、過去の名作をリメイク&サウンド化した完全版が日本コロムビアより継続的にリリースされている。2011年1月に朝日賞受賞。11月には宮沢賢治の作品世界を題材にし「初音ミク」をソリストに起用した「イーハトーヴ交響曲」の世界初演が行われ大きな話題となる。14年には、REDBULLMUSIC ACADEMY 東京 2014 に招かれ、世界の若きミュージック・クリエイターたちの前で講演を行い世界中で話題となった。15年5月には「イーハトーヴ交響曲」が中国・北京で上演された。平成28年5月5日、慢性心不全のため逝去。享年84歳。



会場：ウエスタ川越

THE ORCHESTRA JAPAN

2015年春、創立。「オリンピックコンサート」、「ディズニー・オン・クラシック〜まほうの夜の音楽会」など、創立2年間で約130公演に出演し、ほぼ全公演が完売となった。その演奏は、NHK、WOWOW、TBS-CSなどで広く放映されている。伝統的な枠組みにとらわれないパフォーマンスと音楽への情熱をひたむきに表現する姿勢と演奏で大反響をよぶ。今後クラシックコンサート、教育プログラム、多分野との様々なコラボレーションなどが予定されている。いまでも熱い注目のオーケストラ。



服部 克久 Katsuhisa Hattori 作曲家

パリ国立高等音楽院修了後、様々なジャンルの音楽監督やプロデューサーとして活動。代表作は21作を数える自身のオリジナルアルバム「音楽畑」シリーズにも収録されている「自由の大地」、「ル・ローヌ」「すごい音の唄」等。現在日本作曲家協会会長を歴任しながら、日本の音楽シーンの発展に尽力。2017年2月、音楽畑の楽譜集として「音楽畑四重奏」、「ピアノソロ Best of Best (CD付き)」を出版。また、「音楽畑四重奏」に関しては配信限定でアルバムも発売されている。服部克久オフィシャル・サイト <http://www.halkat.com/>



千住 明 Akira Senju 作曲家

1960年東京生まれ。東京藝術大学作曲科卒業。同大学院首席修了。代表作にピアノ協奏曲「宿命」(ドラマ「砂の器」劇中テーマ曲)、オペラ「万葉集」「鴻の白糸」、「カレンダージュ」等。ドラマ「ほんまもん」「風林火山」「流星ワゴン」、映画「愛をもうひと」「真景がえり」「涙そうそう」、アニメ「機動戦士Vガンダム」「鋼の錬金術師FA」「バッテリー」、TV「アイアンシェフ」等多数の音楽を担当。作曲家・編曲家・音楽プロデューサーとして幅広く活躍。受賞歴多数。NHK「日曜美術館」のキャスターもつとめた。東京藝術大学特任教授。URL: <http://www.akirasenju.com>



川井 憲次 Kenji Kawai 作曲家

1986年に押井守監督作品「紅い眼鏡」で映画デビュー。主な作品に「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」「Avalon」「スカイ・クロラ The Sky Crawlers」「リング」「DEATH NOTE」「GANTZ」「真子3D」「薄桜鬼」「GARMWARS ガルム・ウォーズ」、TVシリーズでは「めぞん一刻」「らんま 1/2」「機動警察パトレイバー」「精霊の守り人」「東のエデン」「ワールドトリガー」「ジョーカーゲーム」「サーヴァント」「モブサイコ100」「刀剣乱舞-花丸-」等アニメーションの他「科捜研の女」「梅ちゃん先生」「花燃ゆ」等のTVドラマがある。



渡辺 俊幸 Toshiyuki Watanabe 作曲家・指揮者

代表作にNHK大河ドラマ「利家とまつ」、「毛利元就」、NHKドラマ「大地の子」、NHK連続テレビ小説「おひさま」、「とんとん晴れ」、「かりん」、「ノンちゃんの夢」、東宝映画「モスラ」、「サトラレ」、「解夏」、「UDON」、アニメ「銀河漂流バイファム」、アニメ「宇宙兄弟」、アニメ「銀河機攻隊マジスティックプリンス」愛・地球博 開会式テーマ曲「愛・未来」、防衛庁・自衛隊50周年記念曲「祝典序曲 輝ける勇者たち」などがある。また、さだまさしデビュー時から現在に至るまでプロデュース、編曲を担当するなど、アーティストとの仕事も多い。「リング〜最終章〜」で第20回ザ・テレビジョン・ドラマアカデミー賞、劇中音楽賞を受賞。平原綾香の「おひさま〜大切なあなたへ」で第53回日本レコード大賞編曲賞を受賞。近年、指揮者としてポップスオーケストラのコンサート活動にも力を注いでいる。洗足学園音楽大学教授(音楽・音響デザインコース統括責任者)。
<http://www.toshiyuki-watanabe.com>

総監督



音楽プロデューサー

篠田 元一 Motokazu Shinoda 作曲家・キーボーティスト

ピアノ、キーボードを専攻正徳に師事。学生時代から幅広いジャンルの作曲を手掛ける。これまでに3枚のソロ・アルバムを発表。演奏活動ではNEXT PIVOTなどでのライブの他、国内外のオーケストラとの共演多数。加えて、楽器メーカーの開発アドバイザーや数多くのシンセサイザーの音色制作に携わっている。その他、音楽雑誌での長期連載や40冊を超える音楽書を執筆。『実践コード・ワーク』『DTM 打ち込みフレーズ制作技法』をはじめとする記録的なベスト・セラー、ロング・セラーを誇る音楽書籍を多数執筆している。歴史的な音楽イベントThink MIDI 2015では音楽プロデューサーを務める。音楽制作会社モトミュージック主宰。



司会アシスタント

加羽沢 美濃 Mino Kabasawa 作曲家

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。1997年、同大学院在学中に日本コロムビアからCDデビュー。今までに20枚を超えるCD、楽譜を発表。作曲家として、オーケストラをはじめ、12人のヴァイオリニストなど室内楽から、合唱、吹奏楽等多くの委嘱作品を書いている。また、テレビドラマをはじめ、「テルソクの夏」「ツレがうつになりまして。」「ライアの祈り」等の映画音楽や舞台音楽など話題作を数多く担当。ピアニストとして、高嶋ちさ子との「Chisa & Mino」やレクチャーコンサート等、全国で演奏活動を行う。また「知らない音楽会」の司会をはじめ多数のテレビ、ラジオにも出演。現在、NHK E テレ「らららクラシック」の司会を務めている。

E バンド

篠田元一 (Synth)
岩城直也 (Synth)
扇谷研人 (Synth)
大迫杏子 (Synth)
古川望 (Gt)
渡嘉敷祐一 (Dr)
梯都夫 (Perc)

和楽器

西原祐二 (箏 / 笙)

合唱

Senzoku Brand-New Chorus
監修: 篠原真
(洗足学園音楽大学教授)